

「ようきてちょーた」=瀬戸弁で「よく来てくれたねえ」の意味。

ようきてちょーた瀬戸!

題字のバックは昔使われていた窯道具たちを埋め込んだ窯垣

編集:瀬戸市おもてなしボランティア
季刊誌作成チーム

発行:瀬戸市 まるっとミュージアム課

9 2008.9.10

招き猫
来る福
瀬戸まるっと

”にゃん”と楽しい!
瀬戸のまち



招き猫アートでめぐる瀬戸の街

第13回来る福招き猫まつり in 瀬戸

期間: 9月27日(土)・28日(日)午前10時~午後5時

会場: 瀬戸蔵、文化センター、新世紀工芸館、パルティセと、名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅周辺

内容: 招き猫メイクにチャレンジ、平成の招き猫100人展(10/5まで)、日本招き猫大賞個展

招き猫100人展アートマーケットなど展示・販売・体験コーナーなど盛りだくさん!

9月29日(来る福)は、招き猫の日



・・・街じゅう“めでたい猫”だらけ・・・

あなたも私も猫になる”にゃんっ

ふるさとイベント大賞「優秀賞」受賞！ 瀬戸の「招き猫まつり」に来てね！

「来る福招き猫まつり」は、「日本招猫倶楽部」が、9月29日を「来る福(くるふく)」とかけて、「招き猫の日」として制定したのが始まりです。

“もの作りのまち瀬戸”は、約100年も前から招き猫の生産を始めており、いわば招き猫のふるさとです。制作するメーカーや作家も数多く住み、多種多様な招き猫が作られてきました。

「福を呼ぶ招き猫は縁起も良い。是非、技術も歴史もある瀬戸で、招き猫まつりを開催したい！」と熱意が実り、瀬戸で開催して今年で13回目を迎えます。

招き猫まつりは、回を重ねるごとに盛り上がりを見せ、猫メイクをして猫になりきる「猫なりきりコンテスト」や「猫の鳴きまね大声大会」など、**市民参加型**イベントに定着し、瀬戸の秋を楽しく彩っています。

この市民が参加して街全体の活性化が図られている点が高く評価され、昨年度の「ふるさとイベント大賞」の優秀賞に選ばれました。

また、今年は瀬戸陶芸協会会員の作品を一堂に集めた「招き猫展」が新たに加わり、今年の招き猫まつりのひとつの目玉となっています。



昨年の鳴きまね大声大会の様子



あなたが選ぶ！ 平成の招き猫100人展

メイン会場の瀬戸蔵で開催される「平成の招き猫100人展」は、今年で10回を迎えます。全国各地から、陶芸・工芸・絵画などジャンルを問わない様々な独創的で個性豊かなアーティストたちの力作が勢ぞろいし、人々の目を楽しませています。ここでは、毎年いろんな招き猫に出会えるとあって、人気を集めています。

また、投票により選ばれたその年の大賞作品の作家は、翌年開催時に個展を開くことができます。

「日本招き猫大賞」吉田一也個展を開催！



「逆さ招き猫」
2007年度大賞受賞作品

「中国では、福の文字を逆さにすると福が入ってくるといわれます。ならば、招き猫も逆立ちにすれば、もっと多くの福を招いてくれるのではと思い作品にしました。今後も形式にとらわれない創作的な招き猫を作りたい。」(本人談)

吉田一也個展

9/27～9/30 新世紀工芸館 2F
10/1～10/5 瀬戸蔵 4F

招き猫ミュージアム

招き猫ミュージアムは、「日本招猫倶楽部」の世話役を務める坂東寛司氏が、20年間にわたり蒐集した招き猫コレクション3000点を所蔵・展示する日本最大の招き猫の博物館です。多くの人々に招き猫の魅力にふれてもらおうと、鈴木政成氏の尽力で2005年に開館しました。

コレクションは、招き猫の歴史やゆかりの紹介、郷土玩具の猫等、珍品、雑貨などが系統別に分類され、日本の歴史、文化を伝える貴重な展示となっています。大正時代のものから、外国輸出向けの「ドル猫」、材質もデザインも様々な現代の招き猫など、たくさんの猫たちが待っています。

お楽しみ処・・・9/27・28はミュージアム前で、子どもも大人も楽しめる「ぶかぶか招き猫すくい」や「猫のミニお面塗り絵体験」(有料)や、お休み処でお茶の振る舞い(無料)があります。

入場料・・・一部有料、中学生以下無料
瀬戸市薬師町2番地(0561-21-0345)



猫メイクで楽しもう・・・

ミュージカル『キャッツ』のメイクアーティストから直伝の猫メイクは、キュートな子ども向け・野性味たっぷり男性向け・そして大人の女性は妖艶にとメイクボランティアの工夫も様々。今年は瀬戸窯業高校生徒も、猫メイクボランティアとして参加します！嬉しいことにメイクやシールは**無料**！！

9月27日・28日は、大人も子どもも、猫メイクや招き猫シールをつけて参加するイベント「なりきりコンテスト」や「鳴きまね大声大会」に参加したり、スタンブラリーで豪華賞品をゲットしたりと、おまつりを何倍も楽しみましょう！

猫メイク(無料)・・・(10:00～14:00)

場所：パルティセと1F・文化センター・せと末広商店街
銀座通り商店街(2か所)・招き猫ミュージアム

招き猫シール(無料・限定数)・・・10:00 13:00

場所：瀬戸蔵1F・文化センター

「なりきりコンテスト」・・・27日15:00～、28日13:00～ 場所：瀬戸蔵屋外広場
「鳴きまね大声大会」・・・27日14:00～、28日14:00～ 場所：瀬戸蔵屋外広場

わ！かわいい 器が猫の形になってる～ 福々ランチ

この限定特別メニューのお弁当箱は、詩画家『深井和子』作。器と呼ぶより置物と言ってもいい「陶製招き猫弁当箱」は、猫好きに限らず“今年は絶対手に入れたい”と早朝から店頭で並ぶファンも増えています。外見だけでなく中身も充実していて、このランチを販売している12店舗のシェフ達が腕によりをかけてお待ちしています。



(容器は持ち帰りできます)

「来る福招き猫まつり in 瀬戸」に“ようこそ”

招き猫まつりも、今年で13回になりました。開催当初は規模も小さく、限られた人や商店だけのイベントでしたが、回を重ねるごとに、内容が充実し、最近では行政、市民、陶磁器業界、招き猫作家、商店街、協賛企業も加わり、来場者も楽しめる参加型として一段と楽しい雰囲気になってきました。これからももっと楽しみを増やし、瀬戸を盛り上げていきたいと思っています。



「来る福招き猫まつり in 瀬戸」

実行委員長 鈴木 政成



招き猫の豆知識



招き猫の由来にはいくつかの説があります。中国の故事に「猫が顔を洗うとやがて客がくる」という言葉があり、手を上げた猫の仕草が人を招くと考えられるようになりました。今回は豪徳寺説を紹介します。

招き猫の由来（豪徳寺説）

東京の世田谷にある豪徳寺は、幕末に桜田門外の変で暗殺された井伊直弼の墓があることで有名ですが、もうひとつ「招き猫」元祖のお寺とされています。

江戸時代、豪徳寺という貧乏寺の住職が猫を可愛がっていました。ある日、彦根藩主の井伊直孝が鷹狩の帰り、住職の飼い猫が門前で手招きの仕草をしたため寺に入りました。するとその直後に雷鳴とともに凄まじい豪雨となり、危うく一行は難を逃れる事が出来ました。住職の人生訓示に感動した直孝は、後日荒れていた豪徳寺を立て直すために多額の寄進をし、豪徳寺は繁栄しました。

武将を招き入れてくれた猫のお陰と、住職はその猫の没後、墓を建て手厚く葬り、後にこの猫をモデルにして招福猫児（まねぎねこ）という名前の人形を作り、それに願掛けすると吉が舞い込むと言い習わしたそうです。これが現代の招き猫の元祖です。今でも豪徳寺の敷地内には猫塚があり、願いが叶った時にはその願いを託した招き猫をそこに納めるのだといひます。

瀬戸の招き猫

瀬戸で玩具として作られていた初期の招き猫は、明治から大正期につくられたとされています。瀬戸市の「西茨1号窯」で出土した、100年前の珍しい瀬戸焼の招き猫は、瀬戸蔵ミュージアムに展示されています。高さ6cmの小さなもので、心を和ませてくれています。一見の価値あります。

瀬戸から招き猫

わかやま電鉄の貴志駅では、日本唯一、猫の「たま」が駅長に任命されています。昨年の招き猫まつりの「新世紀工芸館のセラミックアート招き猫展」で製作された陶製のタマ駅長は、タマ駅長の飼い主に贈られました。しかし、今年も歴代のセラミックアート招き猫として新世紀工芸館で見ることができます。



招き猫の上げ手はどっち？

右手は金を招く

左手は人を招く

両手はどちらも？



毛色のちがいで何を招く？

- 三毛・・・幸運を招きます
- 白・・・福を招きます
- 黒・・・病除け・厄除け・家内安全
- 金・・・金運を招きます
- 赤・・・病除け・魔除け・無病息災
- ピンク・・・恋を招きます
- 黄・・・風水絡み

仏教では左手が不浄といわれ、招き猫の手は、右で招くものが本当などといわれます。通説では、**右手はお金を左手は人（客）**を招くといわれています。最近は**両方を招く**両手上げの猫もあります。また、招き猫の手のあげる高さにも意味があり、**高ければ高いほど遠くの福を招く**といわれます。

*この季刊誌「よきてちよーた瀬戸！」は、瀬戸市おもてなしボランティアの季刊誌チームメンバーが、ボランティアの目線で瀬戸の観光情報を取材し、作成しています。ぜひ、誌面に対するご意見・ご感想を事務局までお聞かせください。（瀬戸市おもてなしボランティア事務局）

瀬戸市役所 まるっとミュージアム課 〒489-0813 瀬戸市蔵所町 1-1
TEL: 0561-88-2541 FAX: 0561-97-1557 E-mail: marutto@city.seto.lg.jp

